

女性活躍推進事業【長野県】

個別事業費	11,046 千円
交付金額	3,941 千円

地域の実情と課題

- 【実情】**
- ・企業において女性活躍推進の取組が進まない理由として、約3割の企業が「経営課題としての優先度が低い」、約2割が「進め方がわからない」と回答。
- 【課題】**
- ・企業等トップのリーダーシップによる働き方改革や女性登用等の具体的な取組の促進が必要である。
 - ・企業の課題に応じた取組過程や成果を横展開し、具体的な手法を示すことで県内企業全体の機運を醸成する必要がある。

事業の特徴

- (1)「女性から選ばれる長野県を目指すリーダーの会」を運営
 - ・リーダーの意識改革、行動変容を促すための取組を実施。
 - ・リーダーミーティングの前段には働く女性の異業種交流会を実施し、リーダーと働く女性の意見交換を実施。
- (2)女性活躍推進モデル企業を創出するための伴走支援を実施
 - ・県内企業5社に対して各社の課題に応じた伴走支援を実施。

事業の効果

- ・リーダーミーティングでは「女性活躍は何のためにやるのか目的を共有することが重要」という意見があり、企業・法人、自治体のリーダーへの意識改革及び職業生活における女性の活躍推進のための具体的な取組の端緒となった。
- ・女性活躍に課題を抱える企業にアドバイザーを派遣し、きめ細かな伴走支援により、企業では「役員と語る会」、1on1MTの実施や制度の試験的導入等が行われ、県内企業の女性活躍に関する具体的な取組を支援した。

目的・目標

- 【目的】**
- ・企業等のリーダーの意識改革を促し、女性が自分らしく働ける環境づくりに向けた取組を推進する。
 - ・企業の課題に応じた取組過程や成果を横展開し、具体的な手法を示すことで県内企業全体の機運を醸成する。
- 【目標】**
- ・「女性から選ばれる長野県を目指すリーダーの会」参加メンバー数68名(目標70名)→広報等により概ね目標達成となった。
 - ・県の伴走支援により、女性活躍推進に係る計画に基づく取組を実施した事業者の割合100%(目標100%)→支援を決定した5社全てが各社の課題に対して取組を行ったため、目標達成となった。

連携団体

- 長野県女性活躍推進会議(17団体で構成)
- 長野県経営者協会、長野県中小企業団体中央会、長野県商工会議所連合会、長野県商工会連合会、日本労働組合総連合会長野県連合会、長野県農業協同組合中央会、長野県森林組合連合会、長野県建設産業団体連合会、高等教育コンソーシアム信州、長野県私立短期大学協会、長野県男共同参画推進県民会議、長野県連合婦人会、長野県市長会、長野県町村会、長野県教育委員会、長野労働局、長野県
- 県内市町村

今後の課題

第5次長野県男女共同参画計画の基本テーマである「誰もが自分らしく生きられる社会」の実現を目指し、引き続き、「女性から選ばれる長野県を目指すリーダーの会」事業等を通じ、企業トップのリーダーシップによる女性が自分らしく働ける環境づくりに向けた取組を促進する。

事業の概要

女性から選ばれる長野県を 目指すリーダーの会

働く女性の異業種交流会の様子



「業種や業界、働き方が違って、女性ならではの経験や意見など共感できるものが多く、仲間が増えたような感じがして、楽しかった。」といった感想があった。

第2回リーダーミーティングの様子



「女性活躍は何のためにやるのか、目的を共有することが重要。」といった意見等があった。

《内容》

▶働く女性の異業種交流会：2回（対面型）

松本開催 令和6年6月18日（火）実施 参加者61名

長野開催 令和6年7月11日（木）実施 参加者62名

▶リーダーミーティング：2回（対面型、オンライン傍聴）

第2回リーダーミーティング 令和6年8月9日（金）実施

参加者56名（メンバー32名、働く女性24名）

第3回リーダーミーティング 令和7年2月5日（水）実施

参加者29名（メンバー18名、代理出席11名）

女性活躍推進モデル企業を 創出するための伴走支援



各社の取組の様子



《支援企業及び支援による主な取組》

▶JA木曾（木曾農業協同組合）

「役員と語る会」を継続実施を検討

▶長野テクトロン株式会社

休暇に関する規定の見直しを実施

▶株式会社長野NTN

フレックスタイム制度の試験的導入

▶日邦電機株式会社 長野工場

育児休業取得から復帰までのフローチャートを作成

▶有限会社ラ・フェンネル

1on1ミーティングの導入